



進路だより

令和4年度 第2号
令和4年 4月22日
島根県立大東高等学校
進路指導部 発行

2022年度大学入試結果概況（今春の卒業生が受けた入試）

【大学入学共通テスト概況】

○志願者数は前年並み、既卒生の減少続く

志願者数は530,367人（前年比99%）、受験者数は488,384人（同101%）となりました。受験率（受験者数／志願者数）は92%で昨年の90%から増加しました。ただし、2020年度以前と比較すると受験率はやや低く、今年も新型コロナウイルス感染症の影響で、大学入学共通テスト（以下共通テスト）には出願はしたものの、受験を取りやめた受験生が多かったためと考えられます。

現卒別の志願者数では、現役生が前年比100%、既卒生等が同95%で、2021年度にその前年から約2割減少していた既卒生等は更に減少しました。

○3科目以下受験者が増加も、長期的には私大専願者の共通テスト離れ継続

主に国公立大学志望者が受験する7科目以上、4～6科目の受験者は前年並みですが、私立大専願の志望者が中心となる3科目以下の受験者は前年比103%と増加しました。ただし、一昨年の受験者数と比較すると、3科目以下の受験者数は一昨年比88%と1割以上減少しました。長期的視点に立てば、私立大専願者の共通テスト離れが継続しているといえます。共通テストの難化も原因の一つであると考えられます。

○より思考力を問う内容、偶然の正解がしにくい解答形式に

2年目を迎えた共通テストですが、今年も授業での学習プロセスや日常生活の場面を題材にした問題が目立ちました。会話文や生徒のノートの形をとった資料など、様々な資料をもとに考察することが求められる問題が多く科目でみられ、問題文の読解にかかる時間が長くなる傾向にあります。

複数の資料、図などから情報を読み取って考察する力が重視されている点も昨年と同様でした。昨年に比べて図表の量が減少した科目もみられたものの、より丁寧な資料の読み取りが必要となっており、単に図表や資料を多用するのではなく、思考力を問うパーツとして資料、図表を活用していく姿勢はむしろ鮮明であったといえます。なお、数学や理科では単元をまたいだ融合問題もみられ、この傾向が今後も継続するのか注目されます。

解答形式にも共通テスト以降、新しいパターンがみられます。理科ではセンター試験時にはなかった、数値を直接マークする設問が出題されました。また、選択肢に「誤りを含むものはない」「両方ともあてはまらない」が含まれている設問、正解の数と組合せが異なる選択肢が並ぶ設問など、地歴公民、理科を中心に、より偶然の正解がしにくい解答形式がみられました。

○7科目がセンター試験時を通じ、過去最低点に。総合型平均点(900点満点)も過去最低

文系型：国(200)・地公(2科目で200)・数(2科目で200)・理(100)・英(200)の900点満点
理系型：国(200)・地公(1科目で100)・数(2科目で200)・理(200)・英(200)の900点満点
※英語はリーディング(筆記)＋リスニングの2科目で200点。
※理科は、文系：主に「理科①2科目(Aパターン)」or「理科②1科目(Bパターン)」で100点満点
理系：主に「理科①2科目+理科②1科目(Cパターン)」or「理科②2科目(Dパターン)」で200点満点

教科・科目名	(満点)	平均点(100点満点に換算)			
		2021年度	2022年度	前年差	
国語	(200)	58.75	55.13	-3.62	
地理歴史	世界史B	(100)	63.49	65.83	2.34
	日本史B	(100)	64.26	52.81	-11.45
	地理B	(100)	60.06	58.99	-1.07
公民	現代社会	(100)	58.40	60.84	2.44
	政治・経済	(100)	57.03	56.77	-0.26
数学①	数学I・A	(100)	57.68	37.96	-19.72
数学②	数学II・B	(100)	59.93	43.06	-16.87
理科①	物理基礎	(50)	75.10	60.80	-14.30
	化学基礎	(50)	49.30	55.46	6.16
	生物基礎	(50)	58.34	47.80	-10.54
理科②	物理	(100)	62.36	60.71	-1.65
	化学	(100)	57.59	47.63	-9.96
	生物	(100)	72.64	48.81	-23.83
英語	リーディング	(100)	58.80	61.80	3.00
	リスニング	(100)	56.16	59.45	3.29
7科目文系型平均点		(900)	555	507	-48
7科目理系型平均点		(900)	571	510	-61

左の表中の各科目の平均点は大学入試センターの発表による本試験の値を100点満点に換算した値です。2021年度は第1日程の平均点です。また、7科目型平均点は河合塾の推定値です。

前年より平均点がダウンした科目が目立ちますが、「数学I・数学A」、理科②の「化学」「生物」、「日本史B」などがセンター試験時代を通じて過去最低点となりました。なかでも注目されるのが数学の平均点ダウンです。「数学I・数学A」では約20点、「数学II・数学B」では約17点ダウンしました。

7科目型平均点(900点満点)も、河合塾が推定をはじめた2004年度以降、最低となりました。なお、河合塾から提供されたデータは、すべて河合塾の許可をいただいて掲載しています。

【国公立大学の志願状況】

○国公立大学前期日程・・・志願者数は前年並みを維持

国公立大学入試の中心となる前期日程の志願者数は234,554人（前年比100%）と前年並みを維持しました。国立大、公立大で分けてみると、国立大では前年を上回る志願者数となりました。共通テストの平均点が大きく下がりましたが、それにひるむことなく出願した様子が見えます。特に旧帝大を中心とする国立難関10大学の志願者が約1千人増加しており、国立大全体の志願者数を押し上げました。一方、公立大は志願者前年比95%とやや高い減少率となりました。

後期日程は、前年比102%と増加しました。共通テストの前身であるセンター試験を例にとると、平均点が大きく下がった年には、募集人員が少なく難易度が高い後期日程を諦める受験生が増加する傾向にありましたが、今年は共通テストの平均点ダウンの状況でも積極的に出願した様子が見えました。

○学部系統別の志願状況・・・理系人気、「法」「薬」など資格に関連深い系統で志願者増

次の表は、国公立大学の前期日程の志願状況を、学部系統別にまとめたものです。

文系では「文・人文」「法・政治」学系が前年並みに留まった一方、「社会・国際」「経済・経営・商」学系の減少率がやや高くなりました。

理系は「理」「工」学系では概ね前年並み、「農」学系では志願者が大きく増加しました。医療系では「薬」学系で高い増加率となったほか、概ね前年並みの志願者数を維持しました。

系 統	志 願 者 数				志 願 倍 率	
	'21年度	'22年度	前年差	前年比	'21年度	'22年度
文・人文	20,560	20,473	-87	100%	2.9	2.9
社会・国際	12,867	12,261	-606	95%	3.2	3.0
法・政治	12,219	12,054	-165	99%	3.0	2.9
経済・経営・商	25,154	24,384	-770	97%	3.1	3.0
教育－教員養成課程	17,352	16,695	-657	96%	2.5	2.4
教育－総合科学課程	1,905	2,006	101	105%	2.3	2.4
理	14,002	14,098	96	101%	2.7	2.8
工	64,781	64,085	-696	99%	2.9	2.8
農	14,921	15,893	972	107%	2.7	2.9
医・歯・薬・保健	35,133	35,893	760	102%	3.3	3.3
医	14,773	15,087	314	102%	4.1	4.2
歯	1,595	1,576	-19	99%	3.5	3.5
薬	2,851	3,120	269	109%	3.5	3.8
看護	10,423	10,645	222	102%	2.7	2.7
医療技術・他	5,491	5,465	-26	100%	2.9	2.9
生活科学	2,510	2,410	-100	96%	3.2	3.0
芸術・スポーツ科学	6,730	6,847	117	102%	4.3	4.4
総合・環境・情報・人間	7,274	7,455	181	102%	3.0	3.2
国公立計	235,408	234,554	-854	100%	2.9	2.9

○難関国立大学の志願状況 … 難関10大学計では4年ぶりの志願者増。難関大にも積極的に挑戦

旧帝大を中心とした難関10大学の志願状況を、前期日程・後期日程に分けて右の表にまとめました。難関10大学全体の前期日程の志願者数は、55,962人(前年比102%)と増加しました。大学別にみると、10大学中6大学で志願者が増加し、なかでも北海道大、大阪大などでは高い増加率となりました。共通テストの平均点が大きく下がったなかでも積極的に難関大へ挑戦している一方で、難関10大学の中で前年低倍率となった学部・学科などに志願者が集まる動きも見られました。

大学名	前期日程				後期日程			
	'21年度	'22年度	前年差	前年比	'21年度	'22年度	前年差	前年比
北海道	5,104	5,409	305	106%	3,517	4,107	590	117%
東北	4,499	4,392	-107	98%	1,251	1,332	81	106%
東京	9,089	9,507	418	105%	-	-	-	-
東京工業	3,638	3,802	164	105%	-	-	-	-
一橋	2,564	2,588	24	101%	1,036	1,244	208	120%
名古屋	4,581	4,339	-242	95%	54	38	-16	70%
京都	7,045	7,210	165	102%	379	360	-19	95%
大阪	6,991	7,501	510	107%	-	-	-	-
神戸	6,194	6,071	-123	98%	4,042	4,052	10	100%
九州	5,175	5,143	-32	99%	2,454	2,549	95	104%
難関10大学計	54,880	55,962	1,082	102%	12,733	13,682	949	107%
その他大学計	180,528	178,592	-1,936	99%	148,187	149,728	1,541	101%

※「その他大学計」は難関10大学を除いた国公立大学計

【私立大学の志願状況】

○私立大学志願者数は微増も、競争緩和は続く見込み

下の表は、私立大学の入試について全国176大学の志願状況を集計したものです。3月11日までのもの(全私立大学志願者総数の約8割)で、22年度の志願者数が未公表・確定前の方式は集計対象外としています。

176大学の一般選抜の志願者数は、全体で前年比102%と前年からやや増加しました。ただし、2021年度入試では志願者数がその前年から1割以上減少していますので、増加率は小幅にとどまっています。大学進学率上昇により、人口減にともなう大学志願者数の減少はペースダウンしているものの、新型コロナウイルス感染症の影響や入試の競争緩和を見込んで出願校数を抑える動きは継続しており、これが主な原因とみられます。また、合格者数は2019年度から増加に転じており、2022年度入試でも3月11日の時点で判明している大学の合格者数をみると前年比106%と増加しています。私立大入試の競争緩和は今後も続く見込みです。

方式別にみると一般方式の志願者数は前年比102%、共通テスト方式では同101%となりました。今春は共通テスト平均点の大幅ダウンが話題となりましたが、私立大学入試への影響は少なかったようです。主要大では出願を共通テスト前に締め切っていた大学が多かったことに加え、私立大学では3科目型が主流で、平均点ダウンが目立った数学を必須としない大学が多いことなどが要因であると考えられます。

学校区分	一般方式			共通テスト方式			合計			
	21年度	22年度	前年比	21年度	22年度	前年比	21年度	22年度	前年比	
主要176大学計	1,753,336	1,794,670	102%	872,728	879,233	101%	2,626,064	2,673,903	102%	
主な内訳	早慶上理	150,381	157,123	104%	53,530	50,374	94%	203,911	207,497	102%
	MARCH	246,709	265,467	108%	126,211	118,587	94%	372,920	384,054	103%
	成成明國武	57,739	62,702	109%	27,525	29,009	105%	85,264	91,711	108%
	日東駒専	169,559	168,228	99%	84,122	88,620	105%	253,681	256,848	101%
	首都圏理系10大学	145,327	153,156	105%	117,007	139,598	119%	262,334	292,754	112%
	首都圏女子13大学	37,462	34,584	92%	18,633	19,116	103%	56,095	53,700	96%
	関関同立	163,331	172,317	106%	67,484	67,367	100%	230,815	239,684	104%
	産近甲龍	158,553	170,645	108%	67,232	74,858	111%	225,785	245,503	109%
	北星学園・北海学園	6,224	6,538	105%	2,805	3,122	111%	9,029	9,660	107%
	東北学院	5,502	8,176	149%	3,356	3,725	111%	8,858	11,901	134%
	南山・愛知・中京・名城	64,149	67,889	106%	38,817	40,791	105%	102,966	108,680	106%
	西南学院・福岡	40,699	41,104	101%	20,435	20,793	102%	61,134	61,897	101%

※大学グループ

早慶上理：早稲田・慶應義塾・上智・東京理科、**MARCH**：明治・青山学院・立教・中央・法政、

成成明國武：成蹊・成城・明治学院・國學院・武蔵、**日東駒専**：日本・東洋・駒澤・専修、

首都圏理系10大学：千葉工業・北里・工学院・芝浦工業・東京工科・東京電機・東京都市・東京農業・麻布・神奈川工科、

首都圏女子13大学：大妻女子・学習院女子・共立女子・白百合女子・実践女子・昭和女子・聖心女子・清泉女子・津田塾・東京女子・

東京家政・日本女子・フェリス学院、**関関同立**：関西・関西学院・同志社・立命館、**産近甲龍**：京都産業・近畿・甲南・龍谷

○学部系統別の志願状況 … 就職関連の分野に集まる傾向高まる

右のグラフは、私立大学の学部系統別志願状況です。私立大学全体の志願者数前年比102%を基準にみていくと、文系では基準を下回る系統が多くみられました。「文・人文」では前年比96%と人気は低調です。前年入試では新型コロナウイルス感染症の影響により留学が制限されたこともあり、外国語・国際系学部で志願者の減少が目立ちました。今春は「外国語」分野では更に1割以上志願者が減少した一方、「地域・国際」分野や、「社会・国際」の「国際関係」分野では志願者が増加に転じました。こうした分野は外国語を勉強するイメージが強い「外国語」分野に比べて学びの幅が広くみえることから、コロナ後を見据え、志願者が戻ってきているものと考えられます。このほか、「法・政治」では志願者が前年比109%と高い人気を示しました。



※グラフ中の数値は志願者前年比(%)、グラフ内の横線は、私立大全体の前年比102%のラインを示す
※3/11現在、河合塾集計(2022年度の志願者数が未公表・確定前の方式は集計対象外)

○主な私立大学の志願状況

右の表に、主な私立大学の方式別の志願者数と前年比(%)を掲載しました。参考にしてください。

大学名	一般方式			共通テスト方式			合計		
	'21年度	'22年度	前年比	'21年度	'22年度	前年比	'21年度	'22年度	前年比
青山学院	20,056	24,614	123%	20,067	23,225	116%	40,123	47,839	119%
慶應義塾	36,681	37,894	103%	-	-	-	36,681	37,894	103%
駒澤	17,446	18,151	104%	11,150	9,688	87%	28,596	27,839	97%
芝浦工業	21,393	22,182	104%	16,678	15,684	94%	38,071	37,866	99%
上智	5,412	5,123	95%	20,858	17,380	83%	26,270	22,503	86%
専修	27,258	28,257	104%	17,102	15,311	90%	44,360	43,568	98%
中央	45,247	44,842	99%	32,110	18,513	58%	77,357	63,355	82%
津田塾	1,811	1,735	96%	2,052	2,245	109%	3,863	3,980	103%
東京女子	3,952	5,098	129%	2,918	3,228	111%	6,870	8,326	121%
東京電機	14,750	15,325	104%	9,382	8,196	87%	24,132	23,521	97%
東京理科	33,468	35,059	105%	15,833	18,198	115%	49,301	53,257	108%
東洋	51,034	48,936	96%	32,105	43,391	135%	83,139	92,327	111%
日本	73,821	72,884	99%	23,765	20,230	85%	97,586	93,114	95%
法政	65,756	79,537	121%	25,200	28,743	114%	90,956	108,280	119%
明治	71,551	76,328	107%	27,458	25,606	93%	99,009	101,934	103%
立教	44,099	40,146	91%	21,376	22,500	105%	65,475	62,646	96%
早稲田	74,820	79,047	106%	16,839	14,796	88%	91,659	93,843	102%
中京	16,339	15,150	93%	11,564	11,960	103%	27,903	27,110	97%
京都産業	24,929	23,661	95%	13,362	11,851	89%	38,291	35,512	93%
同志社	36,490	37,726	103%	7,991	8,128	102%	44,481	45,854	103%
立命館	48,148	51,191	106%	26,805	27,770	104%	74,953	78,961	105%
龍谷	38,406	33,267	87%	14,538	18,925	130%	52,944	52,192	99%
関西	56,108	57,632	103%	22,437	20,024	89%	78,545	77,656	99%
近畿	86,337	105,110	122%	34,184	38,788	113%	120,521	143,898	119%
関西学院	22,585	25,768	114%	10,251	11,445	112%	32,836	37,213	113%
甲南	8,881	8,607	97%	5,148	5,294	103%	14,029	13,901	99%
広島修道	5,328	4,571	86%	3,925	3,449	88%	9,253	8,020	87%
福岡	29,875	30,064	101%	14,197	14,655	103%	44,072	44,719	101%